

スーパー・スプレストーン®

驚異の被膜塗装革命！ 夢の塗装剤 SuperSprayStone®

高度に改良された**水溶性アクリル系樹脂**、スプレストーン®は三十五年以上(日本国内では当社スター・ティー・ジャパン(株)が環太平洋圏総代理店として 1996 年から)に渡り、米国内外で何百もの対象物上でテストされてきました。積み重なる改善と広範な評価の結果、スプレストーン®は米国で今日における**究極的な塗装剤**と認められるに至りました。

このように大胆な評価が与えられるには裏付けがあります。スプレストーン®は様々なテストを通じて以下のように認識されてきました。

スプレストーン®は、木材、石材、セラミック、コンクリート、アルミニウム、鉄鋼、発泡スチロール、ガラスに至るまで、(シリコンを例外として)殆どあらゆる**基質に対し無類の接着能力を発揮**します。スプレストーン®は驚くほど**硬度が高く、極端な温度変化に対しては高い柔軟性を保ち亀裂や欠けを防ぐ**などの高度な耐久性があります。

スプレストーン®は**呼吸被膜**により内壁面の水分を吐き出し内に閉じ込めません。よって**壁内結露を防ぎ外断熱仕上げに最適の塗剤**です。

スプレストーン®は驚くべき**耐水性能**を備え風呂、プール、階段周りに驚くべき**滑り止め効果**を加え、公衆浴場や老人ホームに**傑出した安全性能を発揮**します。

スプレストーン®は、多様な染料または顔料と混合し、**多彩な「本物」の色彩仕上げを実現**します。
(透明レジン**は現在開発中**です。)

スプレストーン®は、多様な骨剤と混合して、**スタッコ(化粧しっくい)から大理石のような外観まで様々な仕上げを実現**します。更に硬化後は水サンドペーパー等により**鏡面仕上げも可能**です。

スプレストーン®は、**平米あたりのコストが安い**ので、広域な対象部分への塗布・仕上げに最適です。さらに、スプレストーン®は**維持費用が安く非常に経済的**です。

このような特性を備えたスプレストーン®は、**どんな対象物にも無類の融通性を発揮**します。実際、スプレストーン®は**塗布できる対象物を選びません**。過去三十五年間、スプレストーン®は以下のような領域で活用されてきました。

- カスタム・メードの擬似石材家具
- 内装用キャビネットとカウンター
- 内装ウォール・パネルと壁仕上げ
- 外装ウォール・パネルと壁仕上げ
- ファシアその他の建築構成要素

(撮影セット・オブジェや**高度な耐水性能を必要とする水廻り**、風呂、トイレ、プール、サウナ等)

それぞれの対象物についてスプレストーン®は見事な仕上げを実現しています。このことからスプレストーン®は現在および未来の**究極的な塗料**と称されているのです。

この究極的塗料であるスプレストーン®は、これまで当社が日本及び環太平洋圏総代理店として長年にわたり販売してきた実績と信頼により、この度アメリカから製造権及び販売権の全てを譲渡されました。製造にあたり日本仕様として独自の改良を施し装いも新たに「スーパー・スプレストーン®」として日本から全世界に向け独占製造・発売いたします。

ここに究極の未来塗装剤「スーパー・スプレストーン®」が誕生！

SuperSprayStone®

スーパー・スプレーストーン® ファクト・シート

スーパー・スプレーストーン®は、高度に改良された**水溶性アクリル系樹脂**で、天然骨剤を含みます。その他別途指定により大理石、花崗岩、石灰岩などの**骨剤の混合により様々な質感を実現し、殆どどんなカスタム・カラーにも調整**できます。**通気性に富む**スーパー・スプレーストーン®は、**内外装を問わず、経済的で使い易い塗料**です。スーパー・スプレーストーン®はローラー、エアレス・スプレー、コテまたは他の噴霧形式を使用して塗布します。このような**一般的な塗装技術で、今日の市場に比類がない仕上げを創り出す**ことができます。きめの細かい滑らかな仕上げから、きめの粗いスタッコ(化粧しっくい)のような質感まで、**多様な仕上げが可能**です。また、スーパー・スプレーストーン®は、以下のような種々の素材を対象としています。

木材

金属（鉄鋼、ステンレス、亜鉛メッキされた金属およびアルミニウムを含む）

コンクリート

内外装用シート・ロック

EPS ボード、発泡スチロールおよび高密度発泡スチロール (General Electric 社の GECET® Board を含む)

プラスチック

生地

ファイバーグラス

EIFS(イフス)システム

ガラス

その他、ゴム、紙、布地等々

塗布手段

スーパー・スプレーストーン®の**塗布手段には、一般に次のような四つの方法**があります。

- | | |
|---------------------------|---|
| ローラー | この方法は、他のアクリル塗料を塗布する場合と変わりありません。けばの良質なアクリル用ローラー・カバーを使用すると、美しく持続性のある仕上がりが得られます。 |
| エアレス
(スプレー・ガン) | この方法は、広い面積の塗装に最適です。スーパー・スプレーストーン®の原液(骨剤を含まない)すなわち改良アクリル部分が仕上げ剤となります。標準的な業務用エアレス・スプレー用具が使用できますが、 <u>スーパー・スプレーストーン®の粘性のため、スプレー・ノズルの取り替えが必要となる場合もあります。</u> |
| コテ | すべて手作業で塗布し、コテまたは同類の工具で滑らかにします。 <u>この方法は、スタッコ塗装に広く使用されており、塗布技術は基本的に同じです。</u> |

スプレー
(ホッパーガン) スーパー・スプレーストーン®のユニークな特徴として、いろいろなスタッコ・タイプのスプレー用具で塗布できるということがあげられます。中でもホッパー・ガン・システムを使用するのがもっとも経済的かつ実用的です。このユニットは、ほとんどの塗装用品店や壁材用品店で求められます。また米国では、このシステムは日単位でレンタルできるので小規模のエンド・ユーザも手軽に利用できます。塗装対象物の難易度にもよりますが、このガンを使用すると一日に約 180 平米まで塗布することができます。塗装面積の広い対象物には、この他に一日あたり約 450 平米まで塗布できる大型装置もあります。

仕上げ

塗装面をやすりがけして大理石のように滑らかな表面仕上げが実現できる、ということもスーパー・スプレーストーン®のユニークな特徴です。このことは人目につきやすい内装部分やパネル・システムにとっても有効です。相対湿度その他の条件によりますが、スーパー・スプレーストーン®を塗布してから数時間後にやすりがけの作業を始めることができます。まず粗めのサンディング・ベルトでやすりがけし、その後徐々に粗さの少ないサンディング・ベルトを使用して、滑らかな仕上げにしていきます。木材やパネル 或いは種々の発砲材等を土台とするスーパー・スプレーストーン®の塗装面は、手で彫り出した大理石や花崗岩のような外観を実現します。実物より安く軽量にできるので、建築家諸氏から高く評価されています。大理石等の骨材を客注でご指定いただく必要があります。

耐久性

スーパー・スプレーストーン®の秘訣は、高度に改良された水溶性アクリル系樹脂にあります。従来のスプレーストーン®の0.5ミリ厚塗装は、ほとんどの新築対象物の外装仕上げで二十年から三十年持続可能(施工不良や構造躯体に起因するものを除く)です。しかし塗装厚を増せば、新開発のスーパー・スプレーストーン®の外装仕上げでは更に長い期間、被膜の耐用年数を向上させることも可能だと考えています。セメント系の素材ではないので、スーパー・スプレーストーン®は様々な技術的利点を備えています。

亀裂ができません。(安定した対象物に適正に塗布した場合)

剥離したり、膨れあがったりしません。(安定した対象物に適正に塗布した場合)

スーパー・スプレーストーン®は、通気性のあるフィルムを形成します。つまり、湿気はフィルムを通過しますが、フィルム自体には浸透しません。(外断熱、遮熱壁材の結露対策に最適な素材)

スーパー・スプレーストーン®には伸縮性があるので、温度の高低や基質の著しい動きに対して追従し、亀裂や磨耗を防ぎます。このため、ポータブル・キャビンや仮の建築物などに最適です。

優れた追従性。スーパー・スプレーストーン®は、通常下塗剤を必要としません。スーパー・スプレーストーン®一液だけを塗布する作業なので、建築家、請負業者、設計会社や製造会社の資材及び人件費節約を助けます。(対象物の状態の見極め、下地調整はもちろん必要です。また当塗剤は下塗りにも使用できます)

スーパー・スプレーストーン®の素材は、かび・白カビ他の菌類を寄せ付けません。

(光触媒は主に日照の多い南面に対して有効)

スーパー・スプレーストーン®の素材は、紫外線から保護します。

スーパー・スプレーストーン®の素材は、大気汚染による損傷から保護します。

維持

不慮の損傷や人為的な汚損が生じても、スーパー・スプレーストーン®は耐久性の高い素材なので、簡単に修復できます。表面をきれいにし乾燥させ、同色のスーパー・スプレーストーン®を対象箇所に塗布するだけです。数時間のうちに修繕箇所が乾燥し周辺の色に馴染むので、そこに最終仕上げをすれば万端です。

スーパー・スプレーストーン®の塗装面をきれいにするには、マイルドな洗浄剤を高圧スレイ・システムで吹き付けるか、面積の小さい部分にはプラスチック製ブラシにマイルドな洗浄剤をつけて軽くこすります。

塗装可能面積

スーパー・スプレーストーン®のサイズには『10L、20L 容器および 1000L のポリコンテナ、有料サンプル専用 1L』があります。顧客や作業の規模によっては、カスタム・メードの質感と色彩の組み合わせを提供しています。骨剤入のスーパー・スプレーストーン® 20Lで、およそ 10~50 平米の塗装が可能です。しかし、塗装可能面積は、塗布厚、対象物の基質特性、作業の難易度、塗布に用いる手段と担当者に左右されるものです。対象基質の多孔率や吸水性によっても塗装可能面積が異なるので、スーパー・スプレーストーン®を大量注文する前にテストをしておくことが必要です。

用具の手入れ

スーパー・スプレーストーン®は高度に改良された水溶性アクリル系樹脂塗料なので、用具はすべてマイルドな洗浄剤と温水で手入れします。硬化し始めた部分はブラシでこすってきれいにします。

スーパー・スプレーストーン®が完全に乾燥した後に用具を手入れする場合、工業用の溶剤が必要です。除去することが非常に困難なので、スーパー・スプレーストーン®が完全に乾燥あるいは硬化する以前に用具を手入れするように注意してください。

さらに詳細な情報については、以下にご連絡ください

製造元: スター・ティー・ジャパン(株) Star-T Japan Inc.
〒419-0201 静岡県富士市厚原256-1
Tel: 0545-61-3821 Fax: 0545-61-3815 e-Mail Address: startjpn@mail.goo.ne.jp
URL: <http://startjpn.seesaa.net>

SuperSprayStone®

スーパースプレストーン®

塗装手順

スーパースプレストーン® 塗装手順 ページ 1

はじめに

スーパースプレストーン®は、多様な内外装面に使える経済的な水溶性樹脂塗料として設計されました。当製品には、当社標準仕様骨材入りの白色系ベース・彩色タイプ、漆喰調タイプ、石膏調タイプ、および客注にて大理石・花崗岩等、他の特注骨剤を含むタイプにも対応致します。スーパースプレストーン®は融通性に富むので、建築・建設のみならず家具の分野でも広く使用されています。家具、造形品、立体パネル・システム、キャビネットから、床材に至るまで幅広い対象物に应用されています。スーパースプレストーン®の性能を生かせば、様々な完成品のデザイン価値をさらに高めることができます。

塗装対象物の準備

木製品

ベニヤ板、削片板、板材などの木製品にはいろいろな傷、隙間や節があります。膨らんだ部分はやすりがけし、くぼみは少量のスーパースプレストーン®で埋めておきます。継ぎ目はすべてやすりがけをして滑らかにし、適切な目地処理をします(当製品のみで下地の継ぎ目を安定接合させることは不可能です)。尖った角の部分には軽くやすりがけをして丸みを付けておきます。スーパースプレストーン®の塗装作業を始める前に、埃、接着剤、油分その他の不純物がすべて除去されていることを確認します。

金属

油分、グリース、錆や埃がすべて除去されていることを確認してください。まくれた切り口があればやすりがけし、すべての端部を丸くしておきます。継ぎ目もやすりがけまたは研磨して、一樣になるように整えます。腐食がない限り下塗剤は不要ですが、水溶性塗料ですので塗布後、完全乾燥前には塗料含有の水分が作用して腐食する可能性は十分に考えられますので、万全を期す為には「さび止め」として別途、さび止め材を下塗り施工することをお奨めします。酸化・腐食部分が工具または化学薬品で除去されている場合、スーパースプレストーン®を塗布する前に表面を滑らかにしておきます。

プラスチック、PVC およびガラス

この種の対象物は、塗料の付着がもっとも困難です。対象表面を粗めのサンディング・ベルト(24 または36グリットが望ましい)で擦り、全体をくもらせます。凹凸部分はやすりがけをして一樣にしておきます。油分、シリコン系の物質はシンナーなどを使って除去します。注意: ガラスの粉塵は、呼吸器系に有害なことがあります作業時には必ず適正な安全措置をとるようにしてください。

EPS、ポリウレタン・フォーム

発泡ポリスチレン・フォーム (EPS) については、段差のある継ぎ目にやすりがけをする以外には特別な準備は不要です。ときおり、切断用ホット・ワイヤによるパターンが表面に見られますが、これはやすりがけしておかなければなりません。大きな空隙は、スプレー塗布する前にスーパー・スプレストーン®で埋めておきます。ポリウレタン・フォームは、粗めのサンドペーパーでやすりがけし、滑らかにしておきます。ほとんどのポリウレタン・フォームには、型から抜き易くするためのコーティングが施されています。このコーティングはスプレー塗布以前に除去しておきます。また、継ぎ目から余分な接着剤がはみ出していないことを確認しておきます。

コンクリート、ブロック、煉瓦、スタッコ

スーパー・スプレストーン®はこのような表面上にも比較的簡単に塗布することができます。対象箇所
に土、グリース、油分、またはシリコン系の物質が付着していないことを確認します。壁面にスプレーする
場合、湿気がないことを確認します。対象面に水分が残っていると、スーパー・スプレストーン®塗装
面は、剥がれたり気泡が生じたりすることがあります。くぼみがある場合、塗装作業開始以前にコンクリ
ート・パッチ剤等で完全に埋めておきます。目につくような凹凸部分は、あらかじめ平坦にしておかな
ければなりません。対象面がきれいでも埃、油分、シリコン系の物質等が付着していない限り、一度塗布し
た面にスーパー・スプレストーン®を上塗りすることができます。

プラスター、石膏

このような対象物は、できる限りやすりがけしてきれいにしておかなければなりません。埃が溜まってい
るとスーパー・スプレストーン®の接着能力が落ちます。このような素材はかなり多孔性ですので、十
分な接着効果を得るには、下塗剤が必要となることもあります。全体へのスプレー塗布以前にテスト塗
りをしてみることをお勧めします。

手順

スーパー・スプレストーン®は、コテ、ローラー、あるいはスプレー方式で塗布します。細部の塗装、ある
いは特定の質感に仕上げる場合にはコテを使用します。過剰スプレーが問題になりそうな場合、コテに
よる塗布が有効です。ただし、この方式は広範囲の塗装には不適です。スプレー塗装による仕上げは、
様々な形態の対象物に適用できます。スプレー塗装は最も経済的かつ実用的なスーパー・スプレスト
ーン®塗布手段です。スプレー対象物の細部条件によりますが、担当者一人あたり一日に 180 平米まで
塗布することができます。石材からスタッコのような外観にいたるまで多様な質感の仕上げが可能です

コテ

- ステップ 1. 塗装対象面の基質条件に応じて準備を整えます。
- ステップ 2. およそ 30cm から 35cm のコテを用いて少しずつ塗布します。塗装対象面に十分に圧力をかけながら塗布し、ブレード部分の角度を一定に保つよう心掛けます。このようにすると対象基質にしっかりと密着させることができます。
- ステップ 3. 質感のある仕上げにするには、スキップ・テクニックを使いながら、スーパー・スプレストーン®を二度塗りします。
- ステップ 4. コテの跡が塗装面に残った場合、きめの細かいスポンジ・ラバー製のやすりを用いて、希望の仕上げになるまで軽くこすります。

ローラー

- ステップ 1. 塗装作業を開始する前に、対象基質の準備が整っていることを確認します。
- ステップ 2. スーパー・スプレストーン®の塗装には必ず高品質のローラーを使用します。
- ステップ 3. アクリル塗料に適用される標準的な手順に従います。
- ステップ 4. マイルドな石鹼と温水で手入れします。

エアレス・スプレー

- ステップ 1. スーパー・スプレストーン®塗装の際には、標準的スプレー塗装の手順に従います。
- ステップ 2. 広範囲な対称面については良質の業務用エアレス・スプレー用具を使用します。骨材が含まれていなければ、アクリル塗装で使用されるほとんどのスプレー・ノズルをスーパー・スプレストーン®の塗布に使うことができます。
- ステップ 3. スプレー塗装開始以前に必ずスプレー・ノズルおよびガンをテストしておくようにします。

質感スプレー

音響ホッパー・ガン・システムはスーパー・スプレストーン®に効果的です。機械によって空圧が異なりますが、スーパー・スプレストーン®塗布のためには、40 から 60psi が最適です。スプレー塗布時には、動作を止めないように継続的に吹き流し、塗料が特定箇所に滞留してしまうことを避けます。動作が一貫性に欠けると、仕上げも一様でなくなります。厚くあてすぎると塗装面にたるみがあります。当社としては、一回の厚い塗布よりも二回に渡る軽い塗布を勧めています。上記事項の多くは、**塗装担当者の経験、対象基質の密度に左右**されます。適正な仕上げを検討するには、**必ずテスト部分を用いてスプレーしてみる**ことが望まれます。

さらに詳細な情報については、以下にご連絡ください

製造元: スター・ティー・ジャパン(株) Star-T Japan Inc.
 〒419-0201 静岡県富士市厚原256-1
 Tel: 0545-61-3821 Fax: 0545-61-3815 e-Mail Address: startjpn@mail.goo.ne.jp
 URL: <http://startjpn.seesaa.net>

スーパー・スプレストーン®塗装システム 仕様書

第一部 一般事項

1.01 要約

- A. 契約書に記載されている要領に従ってスーパー・スプレストーン®塗装システムに必要なすべての作業を実施する。また、適正な作業に必要なすべての補助的品目を整備する。

1.02 関連する章

- A. 標準色色見本帳: 色彩の一覧

1.03 参考文献

- A. レファレンス・スタンダードを参照のこと。
- B. 米国材料・試験協会 (ASTM : American Society for Testing and Material)
 1. ASTM E 84 : 建築材料の表面可燃性に関するテスト法
 2. ASTM E 96-80-手順 A : 透湿度に関するテスト法
 3. ASTM B 117-73 : 塩水噴霧試験に関するテスト法
 4. ASTM G 53-77 : 耐 QUV に関するテスト法
 5. 風雨に関する連邦仕様
 6. かび基準 810B
 7. 弾性率計による接着能力テスト
 8. 化学物質への耐性に関するテスト

1.04 提出物

- A. サンプル: 建築家は事前承認用に、指定の仕上げ形態についてサンプル・セクションを作成するなどメーカーに確認をしてください。

1.05 品質保証

- A. 製造業者の資格について
 1. 当仕様書で対象としている製品は他に明記されていない限り、すべてスター・ティー・ジャパン(株)Star-T Japan Inc. (以後 STJ(株) 製によるものとする。
- B. 下請業者(サブコントラクター)の資格について
 1. 下請業者は、製造業者の指導のもとにトレーニング、承認、ライセンスおよび証明を得るものとする。
 2. 下請業者は、技術レベルと当製品もしくは類似製品の製造について3年以上の専門的製造経験があることを証明しなければならない。

1.06 製品の引渡し、保存および取り扱いについて

- A. 製品は、製造されたままの未開封の状態、製造業者を識別できる表示を付けて引渡すこと。
- B. 製品は、安全で乾燥した涼しい場所(ただし 4.4 未満にはならない)に保管する。さらに、直射日光を避け過度に加熱された高温状態からも保護する。

1.07 作業条件

- A. 環境的な必要事項:
 1. 仕上げの塗布は、周囲温度が 4.4 より高く、表面が凍結していない状態で実施すること。
4.4 にならない場所で塗布する場合には、補助的な手段を用いて周囲を暖房すること。
 2. 周囲温度は、対象物への塗布後、少なくとも 24 時間は最低 4.4 を保たなければならない。

B. 保護

1. 塗装中、周囲の領域と対象表面に損傷が及ぶことがないように保護すること。
2. 各対象領域について作業を中断する際には、作業済みの表面を保護すること。

1.08 保証

- A. 規模および内容、施工業者様に依りて、その都度、必要があれば保証について確認する。

1.09 優良施工業者認定制度(マスター・アплиケーター認定制度)

- A. 特に認める施工技術を有する業者様には、申請があれば審査の上、STJ(株)より Master Applicator 認定証を発行します。

第二部 製品

2.01 製造元

- A. 製造元: スター・ティー・ジャパン(株) Star-T Japan Inc.
〒419-0201 静岡県富士市厚原256-1
Tel: 0545-61-3821 Fax: 0545-61-3815 <http://startjpn.seesaa.net>
「スーパー・スプレストーン®」に関するお問い合わせは製造元まで

2.02 材料

- A. アクリル塗料: STJ(株)の「スーパー・スプレストーン®」は、高度に改良されたアクリル塗料であり、製造業者の定める手順に準じて適用されれば、亀裂、剥がれがなく、カビ・他の菌類の発生を防止するものである。当塗料は、常に柔軟な状態を維持し、またハロゲンを含まない準不燃材料 でもある。色彩は、「標準色色見本帳」にまとめられている。
昭和51年建設省告示第1231号第2に規定する表面試験に合格

- B. 骨剤: 選択に応じて使用可能(通常、標準商品は製造元にて選定)。
C. 水: 清潔な飲料に適する水であること。
D. シーラー: GE シリコン TRA218(耐グラフィティ) アメリカ仕様書の翻訳の為。

2.03 混合

- A. 表面仕上げ材 (Surface Finish Material)
1. 高速ミキサーを用いて、工場出荷時の状態の表面仕上げ材を混合し、一様な粘度が得られるまで混ぜ合わせる。粘性を調整するには、少量の清潔な飲料水を加えてもよい。
水を加えすぎると製品を損なうので必ず製造業者の指定している手順を守ること。

第三部 実際の塗布

3.01 検査

- A. 仕上げシステムを塗布する表面について以下の項目を確認する。
1. 塗装対象物の基質がシステム製造業者の推奨事項に反するものであるか否か。
2. 対象表面に損傷があるか、あるいは他の塗料が塗られていて当該システムの適用に支障をきたすことはないか。対象面が安定しており、過熱点や剥離材(シリコン、油分など)その他残留物がないことを確認する。
3. 偏差が当仕上げ材使用で許容公差を超えないことを確認する。
B. 条件を満たさない項目が是正されるまでは塗装作業を開始しないこと。
C. 作業開始は、すなわち対象面の準備完了を意味するようにすること。

3.02 塗布

- A. 色彩、質感に応じて製造業者が指定している手順に従い、コテ、またはスプレーを用いて塗布する。
B. 所定の質感を実現するためには、製造業者の推奨事項に記載されているようにやすりがけをする。
C. 製造業者の推奨事項に応じてシーラーを適用する。

独立系研究所調査報告書

対象：スプレイストーン® 透明樹脂

以下は旧スプレイストーンにおける試験結果です。現製品は日本仕様に合わせた改良を施しておりますが、日本国内での試験データは現在準備中です。

テスト	テスト方法	結果
QUV	ASTMG 53 - 77 50 で UC4 時間に続き 40 で凝縮 4 時間のサイクルを繰り返す。	6,000 時間後：亀裂、かけ、変色なし。
吸収・凍結	テスト対象パネルを： 20 の水に 1 時間浸水させる。その後、20 で 3 時間乾燥させる。20 の水に 4 時間浸水させる。- 20 で 16 時間冷蔵する。	300 サイクル後：亀裂、かけなし。
塩水噴霧試験	ASTM B117-73	900 時間後：亀裂、かけ、もしくは劣化なし。
風雨耐久試験	連邦仕様 TT-C-5558 4.4.7 章	合格
透湿度	ASTM-E96-80-手順 A	.2perms
接着強度	エルコメータ(Elcometer)を用いた諸 基質用の接着能力テスト	優秀
抗かび性	かび基準 810B	かびの発生なし
耐化学物質	5 滴の化学物質をテスト対象パネル に 24 時間適用	ミネラル・エキス：異常なし アンモニア：異常なし 塩酸：わずかに軟化し、着色あり。 着色部分をすすぐことにより回復、除去可能。
火気散布	ASTM E-84 ファイバーグラス強化 の石膏使用	平均評価値：18.2 くすぶり、発火なし 発煙に対する評価なし。

素材安全性データ・シート Material Safety Data Sheet

第一章 - 製品識別

製品名: ホワイト・ベース Star-T Japan Inc. 256-1 atsuvara, Fuji, Shizuoka 419-0201 Japan Tel: (0545) 61-3821 Fax: (0545) 61-3815 提出日: 1996年7月1日 運輸省指定の船積み時名称: 塗料(Paint)	製品タイプ: ラテックス塗料
--	----------------

第二章 - 成分

化学製品名:	CAS NO.	OSHA PEL	ACGIH TLV	%WT
改良アクリル樹脂	未確定	未確定	未確定	10
アクリル・コーポリマー	未確定	未確定	未確定	15
アクリル・ラテックス	未確定	未確定	未確定	15
バリウム・メタボレート	1370-59-2	未確定	0.5 mg/m ³	10
水	7732-18-5	未確定	未確定	40

* Sara Title III Section 313, 40 CFR 372 に記されている必要事項を報告すること。

第三章 - 物理的データ

沸騰点: 212° F (摂氏 100) 蒸気圧: 水と同値 蒸気密度: 水と同値 蒸発度 (BUAC = 1): BUAC より遅い 外観・臭気: 白い粘性の液体・典型的なラテックスの匂い	水溶性: 良好 比重: 1.18 融点: 適用せず pH: 8 - 10
--	---

第四章 - 可燃性および爆破性

引火点: なし
 引火限界: LEL - 適用せず UEL - 適用せず
 消火媒体: 水または消火器 (フォーム、二酸化炭素、ドライ・ケミカル何れかのタイプ)
 消火手順に関する特記事項: 不明
 消火および爆破危険に関する特記事項: 不明

素材安全性データ・シート Material Safety Data Sheet

第五章 - 反応性データ

安定性 : 良好
危険な重合 : 発生しない
配合禁忌物 : 強酸性物質(凝固の原因となる)
危険な分解副産物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、煙

避けるべき条件 : なし

第六章 - 健康を害する要因

潜入経路 : 吸入? N 肌への付着? Y 経口摂取? Y
急性および慢性効果 : 眼に入ると若干の刺激感あり。長期または再三の皮膚接触による刺激感あり。
慢性効果は不明。
発ガン性 : NTP? N (1ARC Monographs?) N
汚染された場合の徴候および症状 : 肌および眼に刺激を感じることもあり。
汚染された場合に悪化する病状 : 不明

応急措置 : 肌 - 石鹼と水で洗う。刺激感が続くようであれば医師に相談すること。
眼 - 最低 15 分間水で洗眼し、医師に診てもらう。
吸入 - 患者を新鮮な空気が吸える場所に移動し、必要であれば酸素を与えるか人工呼吸を施す。
経口摂取 - 嘔吐を促すことなく直ちに医師または診療所に報告すること。

第七章 - 安全な取り扱いおよび使用上の注意

こぼれまたは漏れが生じたときの対処法 : こぼれた溶液をまとめ丈夫な容器に入れる。床に残った分は不活性素材で吸い取り、容器に入れて破棄する。
床を洗剤と水できれいにする。

破棄方法 : 地方、州および連邦の規制に従って破棄する。

保存および取り扱いにおける注意 : 極端な低温・高温を避けて保存する。容器の蓋をしっかりと閉め、子供の手の届かないところに置くこと。

第八章 - 安全対策

呼吸器系の保護 : 良質な換気装置を配備する。
換気装置 : 局部排気装置、特殊装置、機械的装置他

保護用手袋 : 不浸透性のもの
眼の保護 : 耐化学薬品ゴーグル
その他の保護用衣類または器具 : 不明
作業・衛生上の心掛け : 製品の使用後に手を洗うこと。